

特殊詐欺対策ニュース

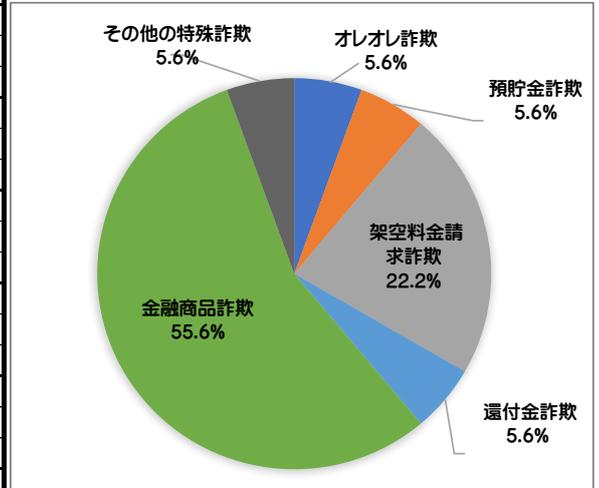
令和6年3月
警察本部生活安全企画課

特殊詐欺認知状況（令和6年2月末）※暫定値

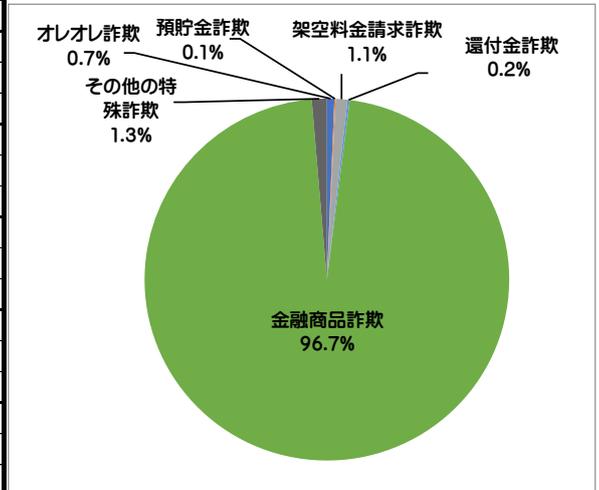
1 特殊詐欺の認知件数・被害額の状況

		認知件数	被害額
特殊詐欺合計	R6	18	245,001,311
	R5	20	52,552,321
	増減数	-2	192,448,990
オレオレ詐欺	R6	1	1,599,600
	R5	2	5,000,000
	増減数	-1	-3,400,400
預貯金詐欺	R6	1	249,000
	R5	2	7,080,000
	増減数	-1	-6,831,000
架空料金請求詐欺	R6	4	2,580,000
	R5	10	23,880,000
	増減数	-6	-21,300,000
融資保証金詐欺	R6	0	0
	R5	2	11,068,548
	増減数	-2	-11,068,548
還付金詐欺	R6	1	479,213
	R5	2	1,844,253
	増減数	-1	-1,365,040
金融商品詐欺	R6	10	236,831,186
	R5	0	0
	増減数	10	236,831,186
ギャンブル詐欺	R6	0	0
	R5	0	0
	増減数	0	0
交際あっせん詐欺	R6	0	0
	R5	0	0
	増減数	0	0
その他の特殊詐欺	R6	1	3,262,312
	R5	1	2,679,520
	増減数	0	582,792
キャッシュカード詐欺盗	R6	0	0
	R5	1	1,000,000
	増減数	-1	-1,000,000

【認知件数の比率】



【被害額の比率】



2 2月中に認知した主な事件

(1) 投資詐欺による高額被害

被害者（60代男性）が有名経済評論家のインターネットサイトを閲覧中、「アシスタントと連絡を取る」などと書かれたバナーにアクセスし、投資家のアシスタントを名乗る者とのSNSチャットを始めたところ、「金への投資」を勧められるとともに、投資アプリのダウンロードを指示された。

アプリのダウンロード後、金への投資名目で指定された口座への振込を複数回にわたって指示され、合計約3,900万円をだまし取られた。

(2) 副業あっせん名目詐欺による高額被害

被害者（40代女性）が副業関連のインターネットサイトにアクセスし、犯人とのSNSチャットを始めたところ、SNSの投稿に「いいね」ボタンを押すと報酬が得られる副業をあっせんされた。

以後、副業を行うと、犯人から教えられたインターネットサイト上では報酬が増加していくのが確認できていたため、継続して行い、後日、報酬を引き出すため犯人に連絡したところ、引き出し手数料名目で指定された口座への現金の振込を複数回にわたって指示され、合計約970万円をだまし取られた。

【被害の特徴】

○金融商品詐欺が急増！

- 金融商品詐欺による被害は、認知件数では半数以上を占め、被害額は全体の90%を占めるなど急増しています。
- その多くがSNSを悪用した投資名目の詐欺で、1件当たりの平均被害額は約2,400万円と高額になっています。

○幅広い年齢層で被害が発生！

- 20～30歳代:17% 40～50歳代:23% 60～70歳代:60%

【被害防止のポイント】

- ①LINEのグループトークに招待される手口が多いこと
- ②SNSやネット上には、投資の詐欺広告や詐欺サイトがあること
- ③著名人の名前、画像を使用した詐欺サイトや詐欺メールがあること
- ④振込先が個人名義口座の場合は詐欺を疑うこと
- ⑤投資で絶対に利益が出るなどのうまい話はないこと
- ⑥おかしい、怪しいと思ったらすぐに相談すること